

みなぼーと新潟

Vol.3

2007. 秋

<特集>

●みなと爽やか健脚コース

<特集>

●みなとの公園

<みなとまち再発見!!>

●「石碑」めぐり

<みなと物知り博士>

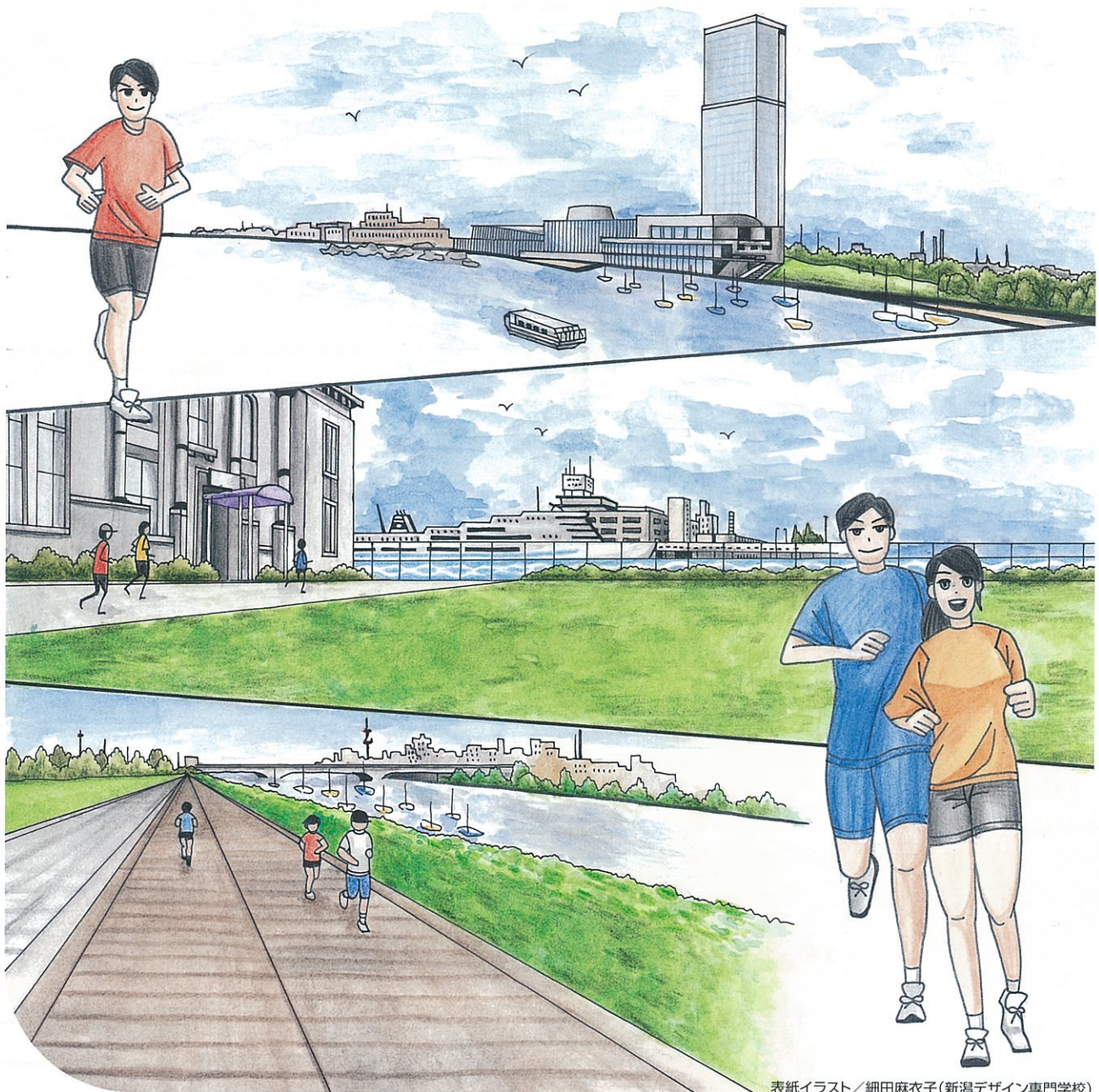
●新潟みなとトンネル

<コラム みなと今昔>

●楠本正隆県令

<みなぼーと広場>

●造船工場見学



表紙イラスト／細田麻衣子(新潟デザイン専門学校)

【NPO法人新潟みなとクラブの主な活動】

- 広報誌「みなぼーと新潟」の発行
- 「みなと」の文化・歴史に関する展示会の開催
- 講演会、学習会を開催し、みなとまちづくりについて学ぶ
- みなとの利用、活用に関する要望のヒアリング
- みなとに関する調査・研究
- ◆みなとまち新潟を愛し、みなとまちづくりに参加したいと思う方をお待ちしています。
- 入会申し込み方法：入会申込書を事務局宛送付。詳しくは事務局（TEL025-270-7017）にお問い合わせ下さい。

新潟港

『爽やか&健脚』 みなと周遊コース

港の風がとても新鮮、
ジョギングやサイクリングで
健康づくり!

新潟の港を巡るおすすめのジョギング&サイクリングコースをご紹介します。山の下みなとタワーを出発点に、新潟みなとトンネルを抜けて、入船みなとタワー、みなとびあ、柳都大橋、朱鷺メッセ、新日本海フェリーを経由する1周約10kmのコースです。今回はジョギング愛好家の方々に実際にコースを走っていただき、心地よい風や、新潟の港の爽やかスポットを体験していただきました。皆さんもこの秋から、運動不足の解消、健康づくりに新潟の港を駆け抜けてみませんか。

周遊コース案内

①山の下みなとタワー → ②入船みなとタワー側信号	1,500m
②入船みなとタワー側信号 → ③みなとびあ	1,470m
③みなとびあ → ④柳都大橋西詰め	1,000m
④柳都大橋西詰め → ⑤柳都大橋東詰め	250m
⑤柳都大橋東詰め → ⑥朱鷺メッセ国際展示場北側	720m
⑥朱鷺メッセ国際展示場北側 → ⑦万国橋	1,600m
⑦万国橋 → ⑧新日本海フェリー	1,670m
⑧新日本海フェリー → ①山の下みなとタワー	1,650m
合計(1周)	9,860m

※みなとタワー開館時間 / 4月1日から5月31日は9:00~19:00、6月1日から8月31日は9:00~19:30、9月1日から9月30日は9:00~19:00、10月1日から3月31日は9:00~17:30



A 新潟みなとトンネル

新潟みなとトンネル

歩道と車道が分かれていて安全。トンネル内は雨天でも濡れずに走れることから人気のスポット。





柳都大橋

みなとぴあ、朱鷺メッセ、佐渡汽船までも一望できます。渡り切ったらヨットの並ぶマリーナの脇を走ります。

入船みなとタワー側信号

海岸のジョギングコースを走れば新潟島1周約15kmのコースになりますが、港コースの場合は左折して信濃川を目指します。

みなとぴあ

みなとぴあの芝生広場を抜けて、近代的な建築の朱鷺メッセを川向こうに眺めながら、心地よい川風を受けて緑地を走ります。

3 4
WC
かもめ公園
みなとぴあ
P
コンビニ
2
B
WC P

< 体験リポーター >



大谷内さん (写真上・左)

川沿いに走ったときの眺めが素晴らしい、風もとても気持ちよく感じられました。

赤塚さん (写真上・中)

一番気に入りの場所は、給水所やトイレがあって眺めの良いみなとぴあです。途中でコンビニが3つあるのも、いざというときに安心ですね。

長島さん (写真上・右)

アップダウンもなく走りやすいコースです。トンネル内なら雨の日のトレーニングもOK。5往復もすればいい運動になりますよ。

小林さん (写真下・左)

水辺のコースは実に爽やかです。気持ちよく走れてリフレッシュできました。

大崎さん (写真下・中)

道沿いに柳が多いことを再発見。新緑や季節の草花を楽しむのが魅力です。

渡辺さん (写真下・右)

途中で信号が3つくらいしかなくて、スムーズに走れる理想的なコースでした。



ホッとひと息 みなとの公園

みなと町にいがた、港周辺を歩くと、
素敵な公園に出会えます。
潮風と港の風情を感じながら
公園でのんびりと過ごす時間もいいですね。



山の下みなとランド

今年の春、山の下みなとタワーの隣に魅力満載の公園がオープン。“港町にいがた”をイメージした帆船の形の遊具をはじめとする様々な遊具や芝広場があり、ファミリーで思いっきり遊べます。大きな船が入り出す風景は港町を実感。子どもたちに人気の公園。

みなとランド開園時間のお知らせ

4月～8月	午前9時～午後6時30分
9月	午前9時～午後5時30分
10月～11月	午前9時～午後4時
12月～3月	休園

みなとランドの開園時間は季節により変わります。



水戸教公園

中央区雲雀町。かつて新潟港の水先案内を行っていた場所にあり、公園にある櫓に上がると入港する船を一望できます。



新潟開港百年記念碑



みなと・さがん

萬代橋下流の信濃川左岸緑地。ウッドデッキや遊歩道から、港を歩き来する船を眺める憩いのスポット。



かもめ公園

朱鷺メッセの対岸にある緑豊かな公園。昭和の初期に架橋された「かもめ橋」が近くにあったことが名前の由来とされています。



リバーフロントパーク

朱鷺メッセから柳都大橋まで、ブナ林とアートモニュメントが連なり、港の風を感じるオシャレなデートコース。



みなとまち再発見!!

「石碑」めぐり (第1回)「歌・唄」の碑

まちを歩いていると思わぬ発見があります。「おや！こんなところにこんなものが！」と新しい発見があるでしょう。「みなとまち再発見！」第1回は、まちで見かけた「石碑」を紹介します。

「新潟ブルース」歌碑

作詞 山岸一二三 作曲 山岸英樹

昭和四十一年美川憲一さんや黒沢明とロス・プリモスが歌い「新潟」の名が全国に広がりました。今も新潟を代表する歌謡曲です。作詞・作曲の山岸一二三・山岸英樹コンビは「信濃川慕情」、「加茂川ブルース」など新潟のご当地ソングを多く作っています。

思い出の夜は
霧が深かった
今日も霧がふる
万代橋よ
別れの前に
抱きしめた
小さな肩よ
ああ 新潟は
新潟は
面影の町



所在地 萬代橋西詰め交番前広場
建碑 平成元年
建立者 新潟市(市政百年事業)

「新潟小唄」碑

作詞 北原白秋 作曲 町田嘉章

新潟小唄は、童謡「砂山」を作った北原白秋の作詞による新民謡です。昭和四年、三代目萬代橋の完成記念事業として発表され評判を得た。はよしの「ハラシヨ」はロシア語で「すてきな」という意味ですが言葉のリズム感が使われたようだ。当時新潟が北洋漁業でロシアと交易が深かったことが伺える。

水の新潟八千八川
ハアサハラシヨ
ハラシヨノロンロン
未は万代橋や長い橋や長い
とんととたたけよ榊きぬた
港にお船も寄って来た
ハアサハラシヨ
ハラシヨノロンロン

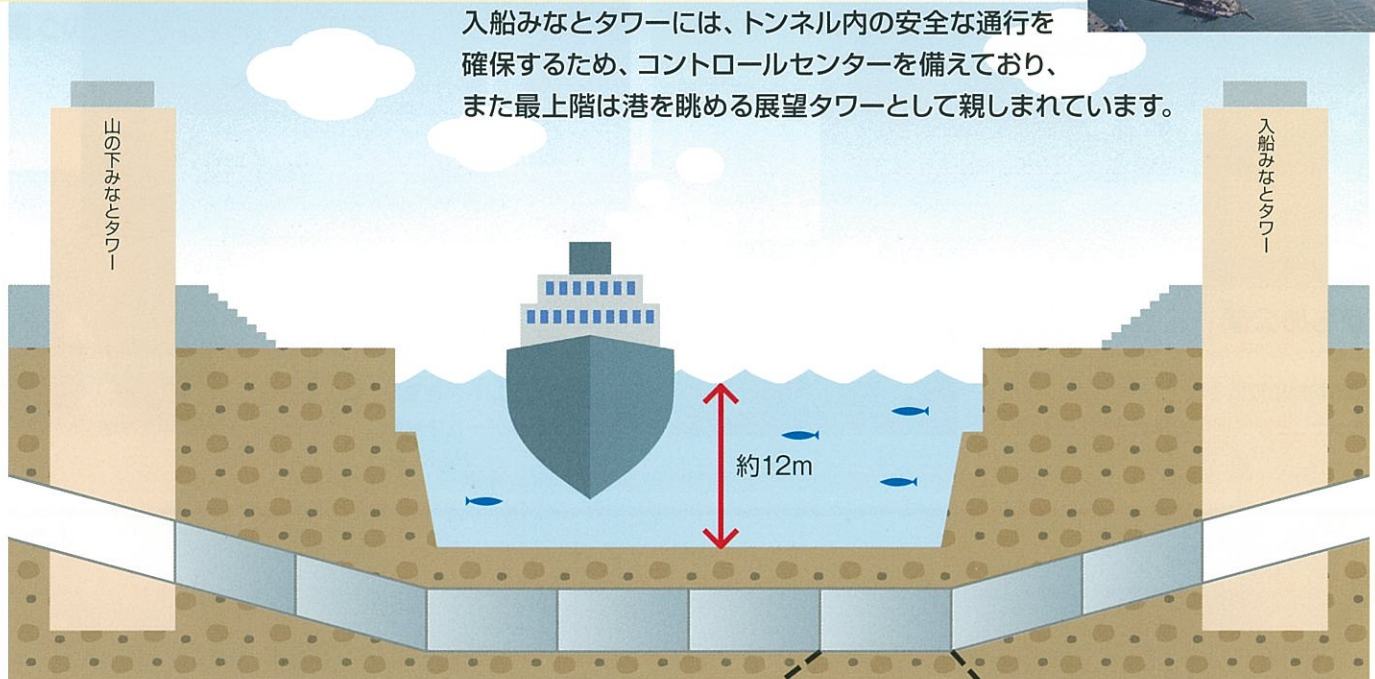
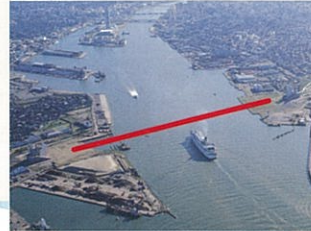


所在地 新潟市中央区万代島道路
建碑 平成四年十月
建立者 新潟西ライオンズクラブ

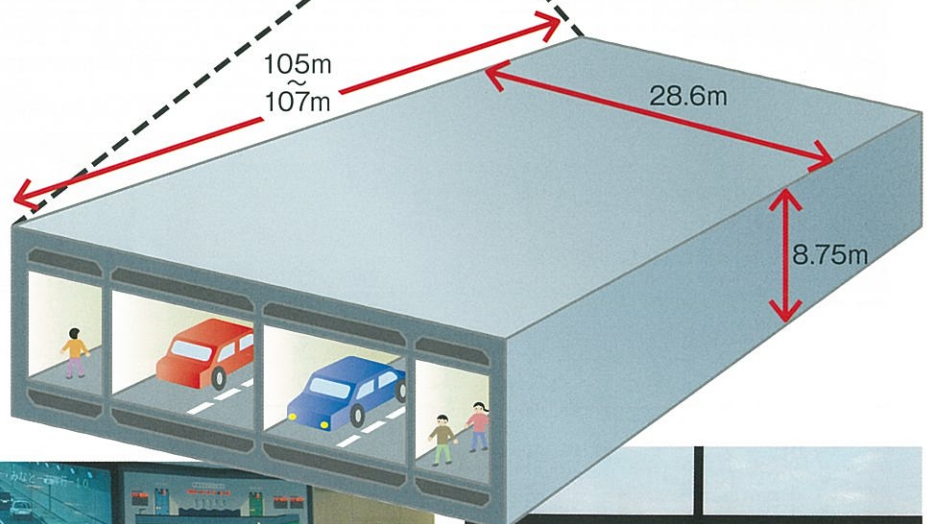


人、街、心をつなぐ、夢を实らせた “新潟みなとトンネル”

信濃川の河口、山の下地区と入船地区を結ぶ
“新潟みなとトンネル”は、
最新技術を駆使した日本海側初の沈埋トンネルです。
長年の市民の願いであったトンネルの開通により、
交通渋滞の緩和・アクセスの改善を実現しました。
入船みなとタワーには、トンネル内の安全な通行を
確保するため、コントロールセンターを備えており、
また最上階は港を眺める展望タワーとして親しまれています。



「トンネル」というと地中を掘り進んで作るものを思い浮かべますが、この新潟みなとトンネルは川底に8つの鉄筋コンクリートの函を沈めてつくった沈埋トンネルです。そのトンネル部全長は1,423m（沈埋トンネル部850m）です。



市街中心を通らず東西を結ぶ幹線



24時間監視体制のコントロールセンター

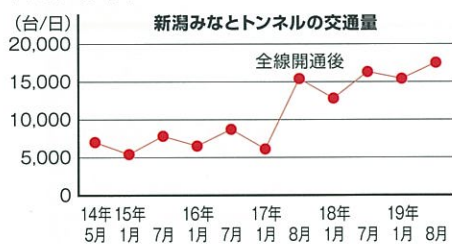


港を見わたす展望スポット

みなとトンネル 豆知識

《全線開通後、交通量アップ!》

新潟みなとトンネルの交通量は、一部供用時の平成14年5月には7,000台/日でしたが、海岸道路を含む全線開通後の平成17年8月には15,400台/日と2.2倍となりました。東新潟⇄西新潟の時間短縮ルートとして効果を発揮し、平成19年8月には17,500台/日と多くの人に利用されています。



《トンネルの安全性と環境》

多くの人や車が往来する「新潟みなとトンネル」。そこに求められるのは高い安全性と快適性です。「新潟みなとトンネル」では、最先端のテクノロジーを駆使しています。最上級にランクされる防災基準をクリアするため、火災検知器、水噴霧設備、排煙設備など万全の設備を採用しました。さらに、人と自然にも十分配慮し、防音・防振・防塵対策にも配慮しています。トンネル内の換気システムも人と自然にやさしい設計となっており、煤煙や粉塵などは除塵機を通してクリーンな空気に変換した後、地上40mの高さより排出しています。また、「ユニバーサルデザイン」の視点から、高齢の方や障害者の方にも安全で、誰もが同じ条件で利用できる施設づくりを目指しました。



《日本各地の主な沈埋トンネル》



新潟の文明開化 新潟近代化の父 楠本正隆県令

明治初年、明治政府が定めた全国府県列順(ランキング)によれば、新潟県は東京府、京都府、大阪府、神奈川県、兵庫県、長崎県について第七位にランクされていた。(アンダーラインは開港場)

明治政府の首都となった東京、平安時代から幕末までの都であった京都、古来から『天下の台所』として経済活動の中心地大阪が上位にランクされているのは当然であるが、それに続く新潟を含む4県がいずれも開港場であることに注目したい。

前号で述べた如く、新潟港の開港に至るまでの事情は、河口港の宿命から諸外国からの要求を受けまさに紆余曲折、戊辰戦争の戦塵はようやく収まりはしたものの、明治五年になっても大河津分水騒動など混乱が続いていた。

大河津分水騒動は新政府の改革や地主層に不満をもつ蒲原農民が大河津分水工事中止を求めて蜂起したものである。この年の四月、渡辺悌助、月岡帯刀に率いられた農民は、分水工事反対や徳川幕府回復などをスローガンに新潟県庁、柏崎県庁目指して押し出した。

この混乱の情勢の中に、初代県令平松時厚に代わって、新進気鋭の開明指導者として楠本正隆が任命されたのである。

来県した楠本正隆は、住民の開港場に対する意識改革が重要と考え、明治六年七月末、「布告書」「市中心得書」を発令し、それを八月十日までに励行するように強制した。それは以下8か条からなるもので、開港都市の住民として、旧来の慣習を是正し、最低限度のきまりを示したものであった。

- 1、火の用心、盗賊取締まりのために羅卒(警官)を置く。
- 2、町家は、各自その家の軒下を掃除し、塵芥を塵取りの中に入れて置くこと。
- 3、現在家々の軒先や家の前に小便所が設けられているが、全部取り壊し、家の裏の方に設置せよ。
- 4、道路上で小便をしてはならない。その代わり横町に新たに小便所を作って置くこと。
- 5、今後、裸で道を歩いたり、店先に座ったりしてはならない。幼少の者であっても、仕事師、船乗りであっても禁止する。
- 6、道路上に材木、たき木等を積んだり、菜園を作ったりすることを禁ずる。
- 7、堀や川は、銘々の用水であるから、そこにゴミを投げ捨てたり、朽ち果てた舟を係留してはいけない。
- 8、町々に街灯をたてるが、落書きしたり傷つけることを禁ずる。

32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟	新潟
改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修
改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修
改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修	改修



楠本正隆の業績
[県政記念館提供]

新潟県令時代の
楠本正隆

初の屋外授業を実施～造船工場見学～ 第2回新潟みなと学校開催

今年2月の第1回に引き続き、7月28日土曜日午後より新潟市内の会場において「第2回新潟みなと学校」が開催されました。当日は夏休み期間ということもあり、家族連れの可愛い生徒や婦人グループも含め64名の生徒で会場はほぼ満員となる盛況ぶりでした。1時間目の授業は第1回に引き続き三村会長の「港にまつわる話～水都新潟の源流②～」の講演、2時間目では今回初の試みとなる屋外授業を実施し、「港湾施設見学会」の一環として新潟造船所の工場見学を行いました。

◆1時間目：「港にまつわる話～水都新潟の源流②～」 会長 三村哲司

- ・天保～嘉永～安政～慶應～明治までの新潟開港前夜の事件、エピソード等について講演していただきました。

◆2時間目：「屋外授業～新潟造船(株)の工場・ドック施設見学～」

- ・新潟造船では、工場内にて船体を小割製作したのち、屋外のドックにてそれらを溶接等で一体化し進水させます。
- ・進水した新造船は専用岸壁に接岸させた状態で、船体の艤装作業（外内装の細かな仕上げ作業）に入り完成させます。
- ・近代化船（エコ船）の建造も進めています。ガスタービンエンジンで電気推進させると同時に、他のコントロール装備も電動という優れたものです。
- ・造船所の方から懇切丁寧なご説明を頂きありがとうございました。



1時間目 「港にまつわる話」の授業中



2時間目 工場内船体小割製作作業



屋外ドック内船体組立作業中



家族連れと艤装作業中の船

新潟みなとクラブ行事予定

- ◆第3回新潟みなと学校（12月初旬）

他機関行事予定

- ◆開港5都市景観まちづくり会議（11/9～11）

<編集後記>

第3号（秋号）をお届けします。新潟みなとクラブでは、「みなとまちづくり」に取り組むための一環として、まず今の新潟港を知っていただくことが必要と考えています。みなさんが港に足を向けてもらい、目で見て実感してください。その手助けとなるような港の魅力を発信する「みなぼーと新潟」を発行しています。今回の広報誌では、港周辺のふれあいポイント等の情報提供に主眼をおきました。

アンケートへのご協力ありがとうございました

◆広報誌「みなぼーと新潟」へのご意見

- 「港とふれあえる場所、新潟港おさんぽマップ的なものを載せてほしい（30代男性）」とのご意見がありました。

◆「新潟みなと学校」へのご意見

- 「新潟の開港前の話が面白かった（40代男性）」
- 「屋外授業の見学時間をもっとほしい（40代女性）」とのご意見がありました。

各種寄せられたご意見は、今後の紙面づくりに活かしていきたいと思えます。

縦じ込みのアンケートはがきでご意見をお寄せ下さい。

発行：NPO法人新潟みなとクラブ

事務局：新潟市東区太平四丁目20-32 TEL025-270-7017 FAX025-271-4460

「みなぼーと新潟」に対する、ご意見・ご感想を上記あてにお聞かせ下さい。

協力：国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所